

- かんがえる子
- おもいやりのある子
- たくましい子

元気に3学期スタート

1月18日(火)に一本木小学校の3学期がスタートしました。登校してきた子どもたちが、昇降口のところで「校長先生、おはようございます。」と元気にあいさつしてくれる姿を見て、安心しました。冬休み中の出来事を楽しそうに話してくれる子どももたくさんいて、充実した冬休みだったことが伝わってきました。

心配していた岩手県内の新型コロナウイルス感染者数は、3学期がスタートした1月18日は13人でしたが、たった1週間で100人を超えてしまいました。学校で今まで取り組んできた「正しいマスクの着用」「30秒の手洗いと手指消毒」「こまめな換気」等を改めて子どもたちと確認し、確実に行われるようにしていきたいと思えます。引き続き感染予防に努めながら、3学期の学習活動を保障していきたいと考えていますので、ご家庭でも朝の検温の継続など、ご協力をお願いいたします。

安全朝会 (スクールガード講話)

1月25日(火)に、スクールガードのみなさんに来ていただき、安全朝会を行いました。今年は、かなり積雪が多い中での3学期スタートとなったため、冬の登下校の安全について、スクールガードのみなさんから一人ずつお話をさせていただきました。

○ 角掛 勸次三 さんよ

- ・ 学校に来るときは、手袋をしっかりとしましょう。
- ・ 横断歩道を渡るときは、運転手に見えるようにしっかりと手を挙げて、車が止まるまで待ちましょう。
- ・ 青信号だから大丈夫ということではありません。道路を渡るときは、走らずにゆっくり渡りましょう。

○ 吉田 耕一 さんよ

- ・ 今年は雪が多く、歩道がないところもあります。そういうときは、道路の右側を歩いてください。
- ・ 道路を渡るときは、左右をしっかりと確認してから渡るようにしてください。



始業式の中で、児童会執行部代表として芳田 尊さんが3学期への決意を發表しました。

3学期への決意

6年 芳田 尊

私が冬休みに楽しかったことは、お正月におばあちゃんの家に行ったことです。おばあちゃんの家には、いとも来たのでうれしかったです。久しぶりに会って遊べたので、また近いうちに会えるといいなと思いました。みんなで年越しをできて、とても安心しました。来年もみんなで年越しできるといいなと思いました。

3学期にがんばりたいことは、主に勉強です。小学校で習ったことをしっかり全部できるように復習したいと思います。特に私は社会がすごく苦手のでできないのでがんばります。一人勉強をしたり、教科書をくり返し読んだり、いつもより工夫して勉強に取り組みたいです。そして、もう一つがんばりたいことがあります。それは、あいさつです。1学期から何度かあいさつ運動をやっていました。2学期になり、あいさつは1学期よりも良くなったと思います。そしてさらに、学校内で名前を呼んであいさつする人も前より増えてきているので、3学期も寒さに負けず、明るいあいさつを学校中に響かせましょう。

3学期は最後の学期です。みなさん気を抜かず、いい学校生活を送りましょう。

～今日が楽しく、明日が待ち遠しくなる学校を目指して～

避難訓練を行いました

1月25日（火）に、今年度3回目の避難訓練を行いました。今回の訓練の目的は、冬期間の避難の仕方や避難経路、避難する際の基本ルールを確認することでした。最初に地震が発生し、揺れがおさまったあとに家庭科室から火災が発生するという想定で行いました。

冬期間の避難は、通常よりも時間がかかると言われています。放送で「避難開始」を指示してから、全学年の児童が避難場所に集合し、全員の安全を確認するまでにかかった時間を計っていました。結果は、『2分59秒』でした。3分以内に全校児童が避難できたことは、大変立派だったと思います。

今回は、火災を想定しての訓練でした。火災で命を落とした人の死亡原因は、「火傷」と「一酸化炭素中毒」であり、死亡に至った人のほとんどが「逃げ遅れ」によるものだそうです。つまり、最初の段階では避難しようと行動していたものの、間に合わなくなって命を落としたということになります。子どもたちには、「1分1秒でも早く避難することが1番大事である」ことを話しました。災害はいつ起こるか分かりません。年間を通じて、様々なケースを想定して行う避難訓練の大切さを、改めて感じました。



冬休み作品展

子どもたちが冬休みに取り組んだ工作・手芸・自由研究などの作品を、2階ホールに展示して、みんなで鑑賞しました。それぞれの作品に、工夫やこだわりが感じられ、時間をかけて作ったり調べたりした成果がよく表れていました。



校長室日記 (自分の得意なものを1つ)

2学期の始業式で、東京オリンピックで特に印象に残った選手として、体操の内村航平選手の話をしました。その内村選手が、現役引退を発表し、1月14日に引退会見を行いました。その中で、ある記者がこんな質問をした場面がありました。「ご自身の体操の中で、最もこだわってきたもの、そして誇れるものはなんですか。」私は心の中で、「たくさんのメダルを取ったことです。」とか、「最後まであきらめずに競技を続けたことです。」などと、ありふれた答えを想像していました。しかし、内村選手は、たった一言「着地です。」と答えました。何の迷いもなくそう答えた内村選手が、とても輝いて見えました。私は、子どもたちに「自分の得意なものを1つ」言えるようになってほしいと思っています。勉強やスポーツに関係のないものでもかまいません。漫画が得意、虫の名前を知っている、車のことなら誰よりも詳しい、など……。子どもは、意外と自分のよさに気付いていないことが多いと思います。子ども一人一人が自分のよさを理解して、自信をもって生活できるようになってほしいと考えています。